

SAISEIKAI

IIZUKA KAHO
HOSPITAL



社会福祉法人 福岡県済生会支部
福岡県済生会 飯塚嘉穂病院

患者さんのために 地域のために



→ ↑
⑤ 生理検査
Physiological laboratory
⑥ 画像検査
Image laboratory
←

↑
緩和ケア病棟
病室
リハビリ
室

検査
受付
検査

皆様が安心して健やかに過ごせる 地域づくりを目指します。

当院は、地域に密着した信頼される病院を目指し、地域住民が安心して健やかに過ごせる医療に日々取り組んでおります。病床数は197床で、急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟を有するケアミックス型の病院です。地域の急性期病院・医院・クリニック・介護施設との連携の下、「医療と介護を結ぶHub病院として、地域医療の充実に貢献する」ことを病院のミッションとしております。

また、済生会病院の大きな特徴として、生活困窮者に対する支援、いわゆる無料低額診療事業があります。医療費支援につきましては、ご遠慮なく当院の医療ソーシャルワーカーまでご連絡ください。

皆様が安心して健やかに過ごせる地域づくりを目指して参ります。

一層のご支援のほどよろしくお願いいたします。



福岡県済生会 飯塚嘉穂病院
院長

関口 直孝

Naotaka Sekiguchi

理念

私たちは、地域に密着した
信頼される病院を実現します。

基本方針

1. 患者さんに寄り添い地域のニーズに応える医療サービスを提供します。
2. 医療・介護・福祉の連携を推進し、良質で安全な医療を提供します。
3. 地域住民を支える社会福祉事業を推進します。
4. 職員が満足してやりがいの持てる職場を作ります。

済生会は、医療・保健・福祉を 展開する社会福祉法人です。

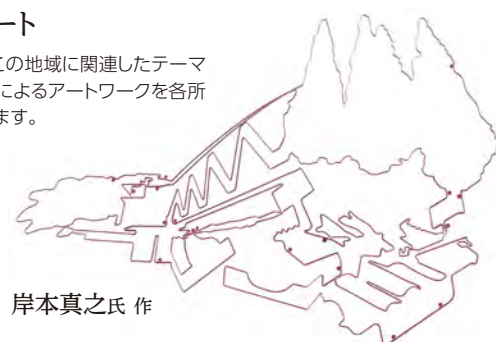
済生会について

済生会は、明治天皇が「恵まれない人々のために施薬救療によって生活困窮者を救済するように」と明治44(1911)年に設立しました。

以来110年以上の活動の中で「施薬救療の精神」という済生会理念の下、全職員約66,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

院内アート

院内には、この地域に関連したテーマやモチーフによるアートワークを各所に飾っています。



岸本真之氏 作

緩和ケア病棟

大切なご家族と一緒に
私たちもそばにいます



緩和ケアとは

がん患者さんとご家族が穏やかな日々を過ごしていただけるようにお手伝いする病棟です。患者さんの苦痛を和らげ「その人らしい」時間を過ごせるようにスタッフ全員で支援します。

緩和ケア病棟の特徴

全てのお部屋が庭に面しており、木目調の窓から暖かな光を取り込みます。緑に囲まれた中で、ゆっくりとあなたの時間を過ごすことができます。

各部屋にはウッドデッキがあり、ベッドのまま外にでることもできます。個室(12室)と多床室(4人部屋、2室)があります。ペットとの面会も可能です。



かけがえのない、大切な一日を
いつものように最後まで自分らしく。

緩和ケア病棟でのケア

緩和ケア病棟では、以下のようなケアを行います。

- 痛み、食欲不振、息苦しさ、だるさなどの身体症状を緩和します。
- 患者さんやご家族の不安や心配事など、心のつらさを緩和します。
- 症状緩和に必要な検査・処置・治療は、患者さんやご家族と相談しながら行います。
- 症状が緩和され、退院時には安心して療養生活が送れるように看護師や医療ソーシャルワーカーがお手伝いします。
- がんの根本的治療を目的とした抗がん剤治療や延命治療は行いません。

緩和ケア病棟での取り組み

患者さん、ご家族が楽しいひと時を感じてもらえるように演奏会・お茶会・夏祭り・クリスマス会などのイベントを行っています。

緩和ケアをご希望される患者さんへ

緩和ケア施設へのご相談の際は、必ずかかりつけ医からの診療情報提供書が必要です。まずは現在の主治医にご相談ください。当院医師との事前面接(要予約)の後に院内で話し合いをし、入院判定を行います。

見学について

入院中の患者さんのプライバシーに配慮し、入院希望の方に限り、施設内をご案内することが可能です。ご希望の際は、当院医療ソーシャルワーカーへ事前にご連絡ください。



回復期リハビリテーション病棟

豊かな自然に
癒されながら
心身の回復を



園芸療法



調理訓練



屋外での歩行訓練



自動車運転再開に向けた実車訓練

回復期リハビリテーション病棟の特徴

365日体制での継続的かつ集中的なリハビリテーションを実施し、起床時から就寝時までの間、食事や着替え、歯磨きや整容、排泄など日常的な動作も含めた生活そのものをリハビリととらえた自立支援を行います。リハビリ訓練だけではなく、医療行為、看護も含めて介入、支援を行います。夜間の排泄時の自立支援なども含めた、24時間の手厚い介入が大きな特徴です。安心してご自宅に帰れるよう、入院時や退院前に患者さんと一緒にご自宅へ伺い、補助器具導入の調査や強化すべき訓練の内容や方法を検討します。また、退院後に利用される介護保険申請のお手伝いや各種サービスの調整など、在宅復帰に向けたさまざまな取り組みを行っています。脳卒中や高次脳機能障害の患者さんに対しては、自動車学校と提携し自動車運転再開を支援しています。自宅復帰や復職支援に関しては、医療機関外のリハビリテーションも積極的に実施しています。患者さんが住み慣れた地域で安心して生活できるように支援していきます。

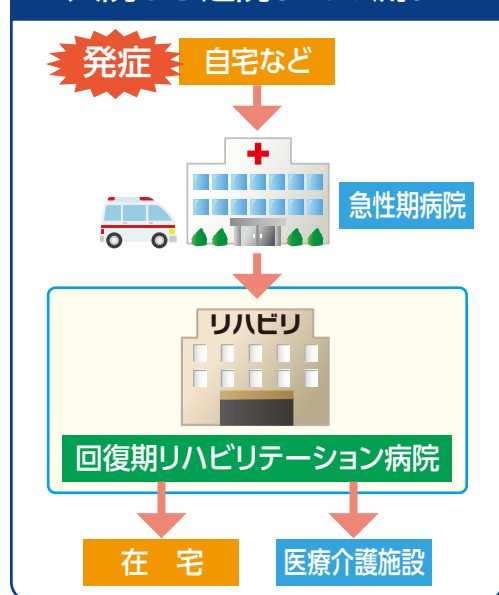
多職種の専門スタッフが集中的に
訓練に取り組み在宅復帰を目指します。

チーム医療

回復期リハビリテーションでは、患者さんが一日も早く快適な日常生活を送ることができるよう、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護補助者、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士といった、各分野のスペシャリストたちが介入します。各職種がチームとなり、高次脳機能障害や運動機能障害をはじめとする後遺症の回復や、日常動作の改善・向上を目指します。患者さん一人ひとりに合わせた計画を立て、専任のスタッフによるリハビリテーションを実施。入院検討中から、在宅復帰・社会復帰を実現するまで、段階に合わせた適切なサポートを行います。



入院から退院までの流れ



*回復期リハビリ病棟への入院時に、患者・家族、多職種と合同での面談を行います。
リハビリテーション検査・身体状態を確認後、リハビリテーション計画を作成します。
(身体・生活状況の確認、治療プログラム、目標など)

摂食嚥下障害と栄養障害への介入

食事を飲み込むことが難しくなる(摂食)嚥下障害や栄養障害は当院の得意分野です。嚥下障害といっても病態は様々であり、まず適切な診断が重要であるため、嚥下造影や嚥下内視鏡を積極的に行い診断しています。この結果を元に専門職がチームとなって介入を行い、経口摂取確立への支援を行っています。ワレンベルグ症候群のような特殊な嚥下障害も得意な領域です。栄養管理は体組成計による評価も定期的に行いつつ、経口摂取・経腸栄養共に綿密な管理を行っています。当院は日本栄養治療学会の認定教育施設でもあります。



嚥下造影検査(VF)



嚥下内視鏡検査(VE)

一般病床と救急告示

地域住民の皆様への
安全・安心な医療を提供
しています。



急性期一般病床

主な診療科は、糖尿病内科や消化器内科、呼吸器内科等の内科系疾患を中心とし、外科、整形外科等、手術症例を含めた様々な疾患に対応しています。

感染症病床

一般病床内には5床の感染症病床を有しており、インフルエンザなど感染症が疑われる患者さんへの対応も行っています。

最適な医療を提供

入院中は、主治医、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー等の医療チームが協働し、患者さんの意向をくんだ最適な医療を提供できるよう努めております。

急患受け入れ

当院は救急医療を広く受け付ける「救急告示病院」です。

地域ニーズの高い夜間や休日の急患受け入れを行い、地域住民の皆様への安全・安心な医療を提供しています。

当院では、一次・二次救急患者の受け入れを行っています。



*当院で診療科を持たない疾患や三次救急の患者さん等については、他病院へ紹介もしくは一部受け入れができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

地域包括ケア病床

安心して在宅復帰して
いただけるように療養支援を
行います。

当院の地域包括ケアの特色

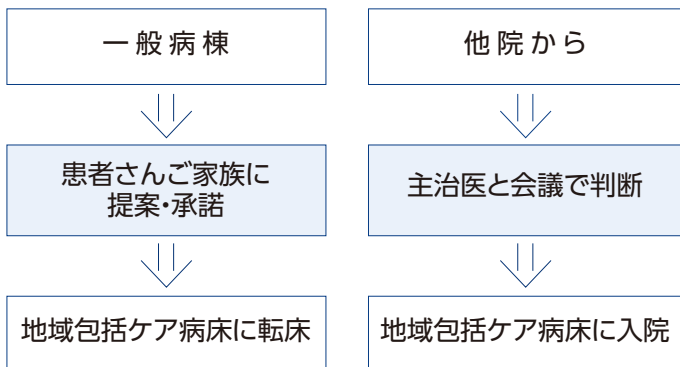
地域包括ケア病床では、患者さんの力を最大限に引き出すために、リハビリテーションや集団レクリエーションを積極的に取り組んでいます。退院後の生活を見据えた医療処置（インスリン、在宅酸素、吸引、胃ろうケア、ストーマ管理など）の療養支援を行っています。

また、退院後も切れ目なく医療・看護サービスが安心して受けられるように、患者さんのかかりつけ医や、地域のケアマネジャー、訪問看護ステーションなどと密な連携を図っています。

対象となる患者さん

- ① 自宅あるいは、施設に退院できる方
- ② 急性期治療が終了したが、自宅や施設での療養に不安のある方
- ③ 在宅復帰に向けて、リハビリが必要な方
- ④ 医療処置や介護などのトレーニングが必要な方
- ⑤ 介護保険のサービスや在宅復帰への環境整備が必要な方
- ⑥ 在宅や施設入所中の方で、体調が悪くなり病院での治療や観察が必要になった方
- ⑦ 介護者の事情で、一時的に在宅介護が困難となった方

受け入れ体制について



患者さんが安心して退院できるように
医師と専門スタッフがサポートします。



入院期間について

自宅や施設での療養が可能な状況になったら退院となります。
※保険診療上60日を越える入院はできません。

なでしこほっと訪問看護ステーション

在宅療養でお困りのことはありませんか？

ほっとな愛情で、ほっとくことなく、ほっとする看護を提供します。
住み慣れた我が家で穏やかに過ごすためにお気軽にご相談ください。

入院したくない
自宅で治療したい
(点滴、傷の手当等)

しばらく入院して
いたから家での
生活が不安

1人でお風呂に
入るのが心配、
少し手伝って欲しい

糖尿病治療薬の
注射があるけど
自分で打てなくなった

薬の管理が
自分でできない

家で酸素吸入を
する事になった
慣れるまで
色々と不安...



病気や介護の
事で相談に
乗って欲しい

ステーションは病院玄関前の
タケシタ薬局さんの隣にあります。



連絡先 TEL.0948-30-1800 FAX.0948-30-1801

地域医療連携

地域の医療機関と連携し、
地域全体で患者さんの健康を
支えています。

地域医療福祉部

地域医療福祉部は3つの課で構成されており、紹介患者受け入れのための業務や、地域の医療機関や関係機関との密な連携の窓口として、病院と地域をつなぐ役割を担っています。

また、看護師、医療ソーシャルワーカーを配置し、患者さんの社会的背景の支援から医療看護の個別ケアまで、安心して地域で生活できるような体制を整えています。

地域医療福祉部

地域医療連携課

入退院支援課

地域連携福祉事業課



医療機関とのかかわり

- 地域医療機関からの受診・入院相談
- 地域医療機関からの診療予約への対応
- 地域医療機関との在宅療養支援・転院の調整
- 診療情報提供書・報告書の管理
- 円滑な入院調整

患者さんや、ご家族とのかかわり

- 受診・入院に関するご相談
- 医療・介護・福祉に関するご相談への対応
- 医療費に関するご相談（無料低額診療事業のご相談）

地域との関わり

- 地域福祉施設を支えるための活動
（研修会の実施、ホットラインの設置）
- 行政機関との連携
- 民生委員を始めとした地域住民との関わり
- NPO法人との連携、支えるための活動

※「地域医療連携の集い」を年1回開催。
地域の医療機関と顔の見える関係を構築しています。

無料低額診療事業について

済生会では、なでしこプラン（生活困窮者支援事業）を行っており、その一つに無料低額診療事業があります。

無料低額診療事業とは、経済的な理由で治療を受けることが困難な方に安心して治療を受けていただくため、医療費負担を無料または低額で診療等を行う制度です。医療ソーシャルワーカーと面談の上、申請を行います。医療費についてご不安なことがありましたら、医療ソーシャルワーカーへお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

済生会飯塚嘉穂病院 地域連携福祉事業課

TEL.0948-22-3804（直通）

FAX.0948-22-3859（直通）

こんな心配はありませんか？

今後の生活
設計の中で
医療費が心配

治療費が
高く受診
するか悩む

病気や失業で
医療費をの
支払いが困難



地域健康支援部

地域の皆さまの健康増進を図り、疾病予防に努めます。

健康診断

予防や疾病の早期発見による早期治療を目的に健康診断をお受けになることができます。

当院の健康診断には人間ドック、生活習慣病予防健診、雇入健康診断などがございます。

健診の項目や料金については当院のホームページ、または健診パンフレットをご覧ください。

なお、受診には事前のご予約が必要ですので、ご希望の方は下記へご連絡ください。

済生会飯塚嘉穂病院 地域健康支援部(健診センター)

TEL 0948-43-8675(直通)



健康教室

当院スタッフが各地の公民館を回り、住民の方への健康測定や健康相談などを無料で行います。

どこにお住まいの方でも参加することができます。

●検査など 身長、体重・体脂肪測定、血圧測定、骨密度測定、貧血検査(ヘモグロビン量測定)、血管年齢測定など。(機器準備等の都合により検査を行えない場合があります。)

●管理栄養士による栄養相談

●医師による医療相談

●医師による講話

これまで当院の健康教室を開催したことのない地区で今後の開催をご希望の場合や健康教室に関するお問合せは地域健康支援部(健診センター)までご連絡ください。

地域交流



地域と共に

私たちは、単なる医療機関ではなく、地域の皆様の健康と笑顔を支える存在でありたいと考えています。公民館での健康教室や、ご家族で楽しめる健康フェアの開催を通じて、医療の枠を超えた交流も大切にしています。

私たちは、皆様の暮らしに寄り添い、安心と信頼の架け橋となることを目指しています。

市民公開講座

患者さんだけでなく、健康や病気について興味のある一般の方も対象に病院で開催している講座です。





社会福祉法人 福岡県済生会支部

福岡県済生会 飯塚嘉穂病院

SAISEIKAI IIZUKA KAHO HOSPITAL

住 所 〒820-0076 福岡県飯塚市太郎丸265

診療受付時間 8:30～11:00(初診・再診) 診療科によって異なる場合があります。

休 診 日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)

夏季休業(8/15)

※休診日・時間外診療は救急対応となります。

連 絡 先 TEL:0948-22-3740(代表)

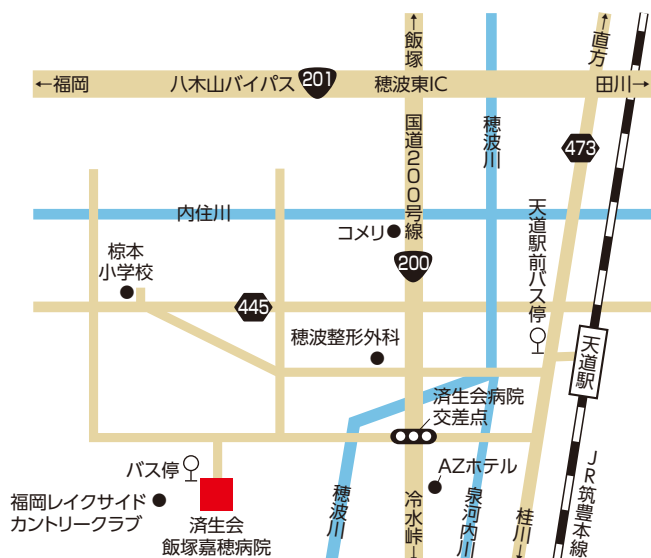
FAX:0948-29-1987(代表)

病 院 H P <https://iizuka-kaho.jp/>

病 床 数 197床

診 療 科 等 内科、呼吸器内科、糖尿病内科、脾臓内科、消化器内科、循環器内科、
リウマチ科、脳神経内科、緩和ケア内科、心療内科、心療精神科、外科、
整形外科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科、健診センター

- アクセス**
- 西鉄バスの場合
西鉄飯塚バスターミナル 済生会飯塚嘉穂病院行(約20分)
 - JRの場合
JR天道駅からタクシー(約5分)
JR天道駅から徒歩(約20分)
 - お車の場合
国道200号線の「済生会病院」信号から右折又は左折(無料駐車場完備)
 - その他
飯塚市コミュニティバス、桂川町福祉バス・買い物通院バス



ホームページ・SNSで情報発信中



病院ホームページ



Facebook



Instagram



X